

2020 年度国際ユース作文コンテスト

【若者の部】 入選

## 自然に帰ろう

(原文は英語)

ジョウ・シャンフェイ (19 歳)

中国湖北省

中南財経政法大学

2030 年 5 月 30 日 木曜日 晴れ

田舎の朝に目覚まし時計は全く必要ありません。スズメの鳴き声と共に朝一番の日の光が部屋に飛び込んでくると、私は夜の間ベッドに潜り込んできた子猫を下ろし、新しい一日を始めるためにカーテンを開けるのです。

私は大学を卒業した後、2022 年から 8 年間、村役人として働いています。湖南省にあるこの小さな村は閉鎖的で未開発ですが、私にとっては魅力と挑戦にあふれた場所です。この村をより良くするためには教養のある若者の力が必要だと思ったからです。そのため、私は北京にある大手企業の内定を断って地元に戻ってきました。北京はたくさんの野心的な夢想家がいる近代都市です。彼らは都会のペースについていこうと頑張っていますが、自分たち一人一人がそれを加速させる要因になっていることに気づいていません。それは悪循環のように見えます。それとは逆に、田舎では時間に追われる切迫感がないため、のんびりと暮らすことができます。人々は自然の法則にならって日の出と共に動きだし日暮れと共に休みます。

一日の中で朝食は重要なので手は抜きません。自分の菜園で収穫したばかりの露に濡れたキャベツなどの野菜が、私が家族のために朝食を作るときが一番のお気に入りです。朝食の後、私は布靴とカジュアルな服装に着替えて、村の役場へと出勤します。交通渋滞も混雑している地下鉄もないこの村では、学校に遅刻しそうな子どもたちや公園で運動をしている老人たちの声が、この田舎を眠りから覚めさせてくれます。6 年前に村人たちの力を結集して作った道を歩く度に見える、とても誇りに感じるものは、道の両側の丘に植わっているたくさんの桃の木です。春の終わりに桃は収穫・梱包され、村の外へと出荷されます。私は、ここの気候が果樹の成長に必要な条件を完璧に満たしていることに気づき、果樹の植樹プロジェクトを数年前に導入して、村人たちと一緒に実験をしながら作り上げました。現在私は、涉外と今では村の重要な経済源である販売を担当しています。ここに住む人々のために、ぼろぼろだった田舎家は大きな屋敷に建て替えられました。そして、これらの変化は全てここ 8 年の間に肉眼で見える速度で起こりました。自然は私たちに無限の宝を与えてくれるため、この村の未来は無限の可能性に満ちています。私たちは山の近くに建物を建て水の近くに住み、自然の一部になって

います。

ここでは夜は涼しく、柔らかな月の光と心地いい虫の音が楽しめます。お年寄りたちは木の下でロッキングチェアに座ってくつろぎ、心の平静を得ることができます。子どもたちは楽しそうに、でも汗だくになりながら木の周りを走り回っています。私は数人の女性たちと一緒に座って、日々の出来事について少し話をします。そして、村の端にある、遠い地だけでなく未来にも続いている小道を見下ろして思うのです。騒々しい都会では、野心的な若者が不足することはありません。しかし、この小さく閉鎖的で未開発な村では、若い人たちがここに残って外の世界への道を切り拓いてくれることが必要なのです。私は村人たちや故郷のためにも、ここにずっと定住するつもりです。

月の光や星たち、そして道沿いに飛び回る蛍の光が家路を十分照らしてくれますが、近々村人たちのために街灯を設置する予定です。なぜなら、街灯は私たちをより良い生活に導いてくれる希望と繁栄の光のようなものだからです。今夜眠る前に、私は自分の気持ちと今日あった出来事を日記として書きとめ、丁寧に折って瓶に入れます。そして、明日この瓶を約10年前の過去、つまり2020年に向かって流れる川に流すことにします。この手紙を受け取って、10年後にどうなっているかを知った私は、2年後にする決断を後悔しないでしょう。なぜなら、これこそが私が望む人生だからです。

明日から夏が始まり、また新たな慌ただしい日々が始まります。この小さな村を除いて。